

■(藤原)洞院公賢 有職故実家。後醍醐天皇の信任得て昇進，学識深く名望あって，南北朝分裂後も，北朝で昇進続く。
とういんきんかた 生。父は左大臣洞院実泰。母は権中納言小倉公雄の娘季子。出生の年に叙爵。
・ ・ ・ ・ ・ 1291＝ 平禅門の乱・1293＝ 2歳：

永仁徳政令・1297＝ 6歳：侍従となり，

・ ・ ・ ・ ・ 1300＝ 9歳：

近衛少将・弁官などを経て，

・ ・ ・ ・ ・ 1309＝18歳： 参議。

・ ・ ・ ・ ・ 1311＝20歳： 此の年からつけ始めた日記「國太暦」は，現在重要史料。

権中納言・権大納言・大納言と累進し，

その間，左兵衛督・左右衛門督・春宮大夫・右近衛大将などを兼任。

後醍醐天皇・1318＝27歳： 此の年即位した後醍醐天皇の信任を得て，若狭の知行国主となる。

・ ・ ・ ・ ・ 1327＝36歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1330＝39歳： 内大臣に至る。

元弘の乱・ 1331＝40歳： 辞す。

鎌倉幕府滅亡1333＝42歳： 後醍醐天皇が隠岐から還京後，還任されたが，
二条河原落書1334＝43歳： 病のため辞職。

中先代の乱・1335＝44歳： *右大臣，皇太子傳

南北朝分裂・1336＝45歳： 南北朝分裂後は京都にとどまり，

学識深く名望厚く，幕府・南北朝廷から高く評価される。

・ ・ ・ ・ ・ 1343＝52歳： 左大臣。

・ ・ ・ ・ ・ 1345＝54歳： 光厳上皇，洞院公賢らに命じ，諸人の詠歌を執進させる。

・ ・ ・ ・ ・ 1348＝57歳： *父を超える太政大臣に至り，光厳上皇より甲斐国が与えられる。

観応の擾乱始1350＝59歳： 洞院公賢家に和漢連句がある。

・ ・ ・ ・ ・ 1351＝60歳： 和泉国に海会寺を建立する。 南北朝の和議が一時成って，南朝からも左大臣，

観応の擾乱終1352＝61歳： 光厳上皇が文書(「弘長百首」等)を洞院公賢の文庫に預ける。

・ ・ ・ ・ ・ 1353＝62歳： 太政大臣に任じられた。

・ ・ ・ ・ ・ 1354＝63歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1355＝64歳： 光厳法皇の文書を返却する

菟玖波集・ 1356＝65歳： 近衛道嗣邸に五十番詩歌合(洞院公賢判)がある

「皇代略」「歴代最要抄」を著し，

・ ・ ・ ・ ・ 1359＝68歳： 「歴代最要抄」「皇代略」を後光厳天皇に書写・献上。出家し，隠遁に擬して黒衣を着したが，

・ ・ ・ ・ ・ 1360＝69歳： 黄疸を病んで， 没した。

「拾芥抄」の増補も行った。「中園相国集」。